



第5号

1994.10



社団法人 千葉県緑化推進委員会

FOREST STORY

森林のはなし

PART 2



▲ 間伐を実施した後の杉林

サンブスギが大ピンチ

千葉県内だけでなく全国的に有名な山武杉。その山武林業地帯は東金市、山武町、成東町、松尾町、横芝町、芝山町の丘陵地7000haにもおよびます。この山武杉の地元、山武郡市森林組合の平成4年度の生産・加工・流通実績は723立方m。50年以上の杉にするとおおよそ2000本にもあたります。実績内容は杉だけに限らないとはいえ、千葉の豊かさを感じさせてくれる数字です。ところが、この千葉の誇り・山武杉が、今、ピンチなのです。そこで今号の「森林のはなしPART 2」は山武杉について特集。山武杉のピンチ脱出法、みんなで考えてみてください。

サンブスギってどんな木？

山武杉の一つめの特徴は、木の形について。皮は薄く、木の根本と上の方の太さが余り変わりません。これは製材がしやすく、利用するにも大変に便利な上、利益も高いという結果をもたらします。また、枝は細く、小ぶりですから、枝打ちもしやすいということになります。

二つめの特徴は、木の性質についてです。色は高品質とされる淡紅色で光沢があります。また30年位までは成長が早いのですが、45-60年位後からは成長が遅くなりますので、柱材にすると、キメの細かい美しい柱となります。

三つめの特徴は、造林法にあります。山武杉の場合は挿し木による造林法が最も多く、品質の良い山武杉の特質が、直接新しい世代に伝えられ、常に高品質の木が育つのです。山武杉と同じように有名な北山杉や秋田杉は、いずれも急峻な山に育つため、このような手の掛かる丁寧な育て方はしていません。

▼ 初秋の山武杉。スクスクと伸びた真っ直ぐで同じ太さの幹が特徴のひとつ



▲ 山武杉で作る高級道具

サンブスギ始まり物語

山武杉の歴史が始まるのは、今からおよそ590年前の応永年間頃です。杉の種を蒔いて苗木を作り植林するという、実生杉による植林がされていました。山武町の賀茂神社にある太さ6.35mの大杉は500年前のもので、山武杉の歴史の始まりはそれよりもっと古いということになります。山武杉の特徴でもある挿し木による植林は、240年程前の宝暦年間に始まったと伝えられています。

こうして山武杉は何代にもわたって、育てられ、その名を全国に知られるようになりますが、それを支えてきたのは農家の方々でした。冬の農閑期には山に入り、下刈り、枝打ち、伐採などの林業に従事しました。また、植林の方法もマツと山武杉の苗を交互に植えていましたから（複層林）、マツは15～20年くらいして伐採し、薪や木炭として売り、枝打ちした杉の葉は薪として燃料に使っていたのです。農業も林業も利益を生み出す生業として存在していたのです。



ピンチの後にまたピンチ

そのように続いた林業も、昭和20年頃から激動の時代を迎えます。終戦後の農地改革により、平地林はどんどん開墾され畑になり、また一方では戦後の木材需要の急増により、山武杉が一斉造林されました。ところが、昭和30年代に燃料革命が起こります。それまで使われていた薪に代わり、灯油、プロパンガスなどが普及します。さらに海外からは安い木材が輸入されるようになり、新建材の開発も進みました。そのため昭和40年をピークに、木材の価格は下落し始めます。また労働力不足と買金の高騰によって、かつてのように山（山武杉）を手入れすることも難しくなっていました。冬といえどもビニールハウスなどの園芸栽培で農家自身も忙しく、山仕事をする余裕もなかったのです。戦後に植林された山武杉は、放置されてしまい、結果発生したのが溝腐病です。被害木の伐倒処理以外に、今のところこの病気の有効な対策はありません。せめてもの自衛手段として、山武杉の造林をあきらめ、農家は実生杉やヒノキの造林に切り替えつつあるというのが現状です。



▲マツと山武杉の複層林を造林したところ。マツは15～20年で切られる

サンブスギを救え！

植林して5年間は毎年行う下草刈り。5年に1度の枝打ち作業。そして20～30年で行われる間伐…。50年以上も、いろいろな病気から守り、育てられる山武杉。森林は私たちの生活や地球にとって、とっても大切なものです。千葉県を代表する山武杉をこのまま衰退させないためにも、山武杉のこと、時々気にかけてみてください。



監修／山武都市森林組合組合長理事 伊藤 衛さん。山武林業発展のため、元気いっぱい奮闘しています。

千葉の散歩道

房総 風土記の丘

(印旛郡栄町)

遠い昔に思いを馳せ 古代に遊ぼう!

うっそうと茂る木々に囲まれた房総風土記の丘。6-7世紀に造られた113基の古墳が群集しています。中でも国指定史跡の岩屋古墳は全国的にも最大級の方墳。263個の埴輪を並べ、当時の状態を復元した第101号古墳。それらの古墳を巡る遊歩道を、遠い昔に思いを馳せながら歩きます。11月からは紅葉のシーズン。もう一つの楽しみです。それに、旧学園院初等科正堂(重要文化財)の庭に咲くコスモスも見事。資料館には、千葉県内から出土した埴輪や土器、化石など考古資料が展示されています。

第2土曜には「チャレンジ考古学」を開催。石器、土器などを作ったり、古代人の生活を体験。10月8日は弥生時代の稲刈りにチャレンジ! また11月3日には「第18回風土記の丘ふるさと祭」が開かれます。

隣接する房総の村には、江戸時代の農家や商家、武家屋敷などが再現されています。



■交通 / JR成田線(我孫子線)安食駅から千葉交通バス、風土記の丘北口下車。または下総松崎駅から徒歩25分。/車の場合、国道51号線成田市寺台インターを安食方面に左折15分

■開園時間 / 午前9時~午後4時30分
■休園日 / 月曜日(祝日の場合は火曜日)
■入園料 / 無料
■千葉県立房総風土記の丘
☎0476-95-3126

体験しました、みどりの少年団交流集会

お友だちになったよ!

7月27日(水)～29日(金)、平成6年度「緑と水の森林基金」事業・第14回千葉県みどりの少年団交流集会を開催しました。場所は夷隅郡大多喜町・大多喜民の森。猛暑といわれた今年の夏ですが、会場となった大多喜民の森は高原のさわやかさいっぱいです。

27日スタートのA班。「よその学校の人たちとグループになるんだって」。ちょっと不安げです。でも海洋センター体育館での交歓会ゲームが始まると、不安なんてどこへやら。リレーゲームや応援合戦をしているうちに、早くもお友だちになっちゃいました。続いて飯ごう炊飯。「火をおこすコツは、えーと、お父さんが教えてくれたんだけどな」とここ

は男子のウデの見せどころ。煙いけどがんばるゾ。で、女子は材料の下ごしらえ。といってもカレーだから切るだけ。手分けして、協力して作ったカレーの味はトクベツだもんね。なんて言いながら、隣のグループと出来を比べっこ。こうして夜のキャンプファイヤー、翌日の自然観察会、体験林業などの日程を経て、活動発表会に臨みます。ここでは28日スタートのB班も合流。「大きなホールでの発表は緊張するなあ。でもみんな友だちだから…」というわけでリポート姿も堂々たるもの。きのうと違う、ちょっと大人びたまなごしに、帰ったら、お母さんも気付いてくれたかな?



▲早朝の自然観察会。朝霧の中、ヤマユリ、ウサアジサイなどの花や、虫について、教えてもらう



▲いよいよ体験林業。ヒノキの樹皮にチェーンソーで切ると、押す時は楽に、引く時には強くだね。「アレ、いきない!!」



▲続いて表皮むき。意外にカンタン



▲「難たいよー、といいながらがんばった、火おこし。みんなエウかったよね



▲きつとウチの飯が〜番おいしいと思うよ



▲発表姿も堂々たるもの。中央公民館ホールでの活動発表会



▲感動と笑いのキャンプファイヤー。来年もまた来たいな



▲自分たちで開伐した木で、エンピツ立て、作る予定なんだけど...

緑 自 慢

児童数793人の千葉市立北貝塚小学校。隣りにはクスギ、アカマツ、ブナなどが生い茂る、0.8haもの雑木林が広がります。同校が創設された昭和48年よりも前からあったこの雑木林は“ふれあいの森”と名づけられ、起伏に富んだ森の中は子供たちの格好の遊び場になっています。枯れたツルにぶら下がったり、花や虫や木の実を捜したり…。『知ろう自然、



守ろう環境”をモットーに理科や図工、生活科と、森から学ぶことはたくさんあります」と、やさしく見守る環境担当の原野先生。広場には、20個の野外テーブルが設置されています。森の中で見かける鳥や虫、実のなる木が、昨年度の6年生の卒業制作で描かれ、テーブルが図鑑に変身。下級生にとって最高のプレゼントになりました。野外給食会も開かれます。また、50個のダンボール紙の巣箱が、子供たちの手で取りつけられています。シジュウカラやヒヨドリ、

キジバト、セキレイなど森の住人も多いのです。

昨年、学校の隣りの“なかよし農場”に150平方mの水田が造られ、2年生の授業で稲の栽培が行われました。農家の方の指導で、しろかき、田植え、草取り、稲刈りを体験。冷夏も何のその、結果は大豊作。農協で借りた脱穀機、精米機で12kgの餅米になり、11月の北貝塚祭であんころ餅になりました。今年も稲はみごとに実っています。

また、田んぼの泥土でツバメが校舎の壁にたくさん巣を作り、みんなに見守られながら元気に巣立っていきました。「普段は見られない自然の仕組みを、子供が発見しました。これも大収穫」と、感動を一緒に味わう教務主任の山倉先生。

昭和55年から続けている空き缶回収運動。収益金で“あき缶文庫”ができました。公園の美化運動に取り組むビューティフル活動では、昭和59年に暴の“ライトブルー賞”、60年に“日本善行賞”を受賞。

こうした自然との関わりは、日常生活の中に当たり前のように受け入れられ育まれています。教師と子供との一体感、教育の素晴らしさを実感しました。「せんせー、こんなの見つけたよー」。森の中から今日も子供たちの元気な声が響いてきます。

この本…… オススメします。

『みつけたみつけた
タネいっぱい』

江川多喜雄・
かみやしん 作



ほら、くさむらには、タネがいっぱいだ！ 身近に見られるタンポポやカラスノエンドウのタネを発見したり、実際にタネをまいて、どんな芽がでるのか観察します。こんなにタネがあつまった。どのタネから、どんな芽がでるのかな？ 発見は新たな疑問につながり、夢はどんどんふくらみます。
童心社 定価1,030円（本体1,000円）

『森の形 森の仕事』

稲本 正文
岡崎良一 写真



一お椀から建物まで第三次木の文明へのプロローグ
漆、楠、栗など12種の木をその作品と共にエコロジーの視点から、また縄文時代から現代までの木の文明を語ります。かつて人と森とが美しく暮らした時代がありました。21世紀を迎える私たちへの森からのメッセージです。
世界文化社 定価2,500円（本体2,427円）

※左記の本を抽選で各2名の方々にプレゼントします。ハガキに希望の著書名、住所、氏名、電話番号を明記の上、(社)千葉県緑化推進委員会「プレゼント係」へご応募ください。本誌をどこで見つけたか、また要望なども書き添えてください。あて先は8ページの右下参照。締め切りは11月30日（消印有効）。当選発表は発送をもってかえさせていただきます。なお、前回の『ビーターラビットの庭仕事』は千葉市・井上和代さん、『森の草花』は千葉市・日暮花美子さん、ほか2名の方に決まりました。おめでとうございます。

「みどり通信」 マイシャッターチャンス



’94年8月10日、友人宅で撮影

千葉市・中村貴江さん（40）
「月下美人」

月下美人が咲きそうだと友人の電話に、娘と見に出かけた時のもの。白く美しい姿と甘い香りにうっとり。でも翌朝にはしおれてしまい、小野小町の言葉、花の命は短くてを実感。我が家のベランダに咲く、ナスやピーマンの花の清楚な美しさも愛らしく、自然にはいつも感動させられます。

原内の緑（自然）をテーマに、皆様撮影した写真を募集中。撮影日時、場所、コメントを書き添えて前記の要領で「マイシャッターチャンス係」へ。掲載された方にはオリジナルテレホンカードをさしあげます。



企業の中の緑

ニッカウヰスキー(株) 柏工場 (柏市)

柏市の町並みから少し離れたあたりに、緑豊かな森に覆われたニッカウヰスキー柏工場があります。敷地面積55,000平方mの3分の2が緑地。高木だけで2300本、種類も本数も把握できないくらいの原生林は自然のまま。従業員約200人が働くこの工場では、モルト原酒とカフェグレーンを混ぜ合わせたものを、再び樽に詰めて半年くらい寝かせ、それをボトリングして出荷しています。全国のニッカウヰスキーの7割は、この森から巣立っているのです。

敷地に一步入ると、森の中から甘いウヰスキーの香りが漂ってきます。まさに自然との共生です。昭和42年、うっそうと繁っていた原生林をそのまま残す形で、工場の建設は進められました。ニッカウヰスキー創始者・故竹鶴政孝さんの「ウヰスキーは自然が育むもの」という信念にもとづき、「木を残すためには、建物の位置をずらしてもいい」という姿勢が徹底されたのです。一朝一夕には育たない木への思いやりが伝わります。

この信念が工場の敷地に見られます。たとえば、邪魔になるからといって木を切るのではなく、木を避けて丸く作られた道路。「最近、工場見学にくる大型バ



スは、ギリギリに通って行きます。危ないのですが、もうちょっと様子を見たいと思っています。切ることは簡単。守ることのほうが何倍も難しいですね」と、総務課・次長の金井良太さん。貯蔵タンクの横にも同じような例を見つけました。普通ならすぐ切られてしまうような場所にある木々がきちんと守られ、まるで仕事を見守っているようです。また、森の中の建物は全て茶色のレンガやタイルで覆われ、緑とのコントラストが絶妙。うらやましい限りの、環境に恵まれた職場です。

平日は、工場見学コースとして一般に開放。年2回、地域の方とのコミュニケーションを図るため、4月29日と8月の最終土曜日に、「ニッカウヰスキー工場開放デー」を設けています。当日は約2万人もの人が集まって、模擬店やもちつき大会、そしてウヰスキーの試飲を楽しみます。

森を散歩するのに40分。鳥の声を聞きながら森を分け入ると、タヌキに出合えるかもしれません。



森林・緑化基金 寄附金ありがとうございました。

谷内建設(株)

金子惣一

「千葉県農林部みどり推進室」募金箱

東総造園土木(株)

長尾英幸

林業関係職員退職者を励ます会

千葉県森林組合連合会

千葉県山林種苗緑化木協同組合

千葉県造園緑化工業事業協会

香樹園緑化建設(株)

東金造園土木(株)

東正造園土木(株)

「県民の日・千葉まつり」

募張メッセ会場来場者

「印旛支庁農林業まつり」来場者

南石橋造園土木

伸和ビジネス(株)

京葉緑化工事(株)

市原造園(株)

栃東城園

フタバ緑化産業(株)

千葉造園土木(株)

株横芝緑化

総武造園土木(株)

株共楽園緑化土木

吉野造園(株)

中村圭一

日本信販(株)グリーンナリーカード

※寄付者総数28

※平成6年4月から6月まで

順不同。敬称は略させていただきます

森林・緑化基金に御協力をお願いします

緑を代表する森林は、計り知れない恩恵を私たちにもたらしてきました。

しかし森林は世界的に減少しており、重大な問題に直面しております。

このかけがえのない緑を守り育てるために、本委員会では「森林・緑化基金」の造成を進めています。

運用益(利息)は学校・公園・社会福祉施設等の公共施設の緑化や森林の保全などに使われています。

名称	目標額	実績額
森林基金	190,000千円	94,152千円
緑化基金	200,000千円	151,509千円

(実績は平成6年9月1日現在)

緑化や森林づくりの必要性をご理解いただき、ご協力をお願いします。

なお、寄付金には、法人税・所得税の優遇措置が受けられます。詳しくは、本委員会までお問い合わせください。 ☎ 043 (225) 3181

第2回県民参加のみどりづくりの開催

ふるさとの美しいみどりづくりに一緒に参加してみませんか！

県民の皆様の手で、みどりづくりに積極的にご参加いただきたく、下記のとおり「平成6年度第2回県民参加のみどりづくり」を開催します。

今回は、不要な枝をのこぎりで切り落とす枝打ち作業です。節のない良木をつくり、健全で優良な山づくりにつながる大切な作業です。

作業後の美しいみどりを目の前にした時、きっと、みどりづくりの大切さ、素晴らしさを実感していたけることでしょう。

たくさんの方々の参加をお待ちしております。

- 日 時 10月30日(日)
 - 会 場 東金市・極楽寺地域
 - 内 容 枝打ち
 - 定 員 100名
 - 参加費 無 料
 - 交 通 JR東金駅から送迎バスを出します
 - 申込期限 10月21日(金)までに電話で申し込みを
 - 申込・問い合わせ先 千葉県庁みどり推進室
- ☎ 043 (223) 3684

平成6年度緑の羽根募金の実績

県民の皆様の多大なるご支援により、本年度の募金総額は昨年度実績を上回る33,130,081円にも達しました。

お寄せいただいた募金は県下各地での植樹や緑化思想の普及・啓発等に使われ、重要な役割を果たしています。

皆様の郷土緑化への厚いご期待とご要望にお応えできますよう、これからも効果的な緑化運動を実施してまいります。今後ともご協力いただけますよう、宜しくお願いいたします。



● 季節の花・実 ムラサキシキブ ●

高さ2～3mの落葉低木。夏に淡い紫色の花が咲き、秋には上品な風情の紫色の実をたくさんつける。「源氏物語」の作者紫式部にちなんで付けられた名前。花言葉も紫式部にふさわしく「聡明」。別名実紫。

実むらさき

人恋ひの色濃くしたり 一加藤三七子一

表紙の絵

表紙の作品は、平成5年度国土緑化運動ポスター原画コンクールにおいて、小学校高学年の部で千葉県教育長賞を受賞した千葉市立北目塚小学校6年・宇谷千穂さんの作品です。また、この作品は、(社)国土緑化推進機構主催の全国コンクールにおいても、国土緑化推進機構理事長賞を受賞しました。



グリーンえっせんず 第5号

1994年10月1日発行

発行／(社)千葉県緑化推進委員会

〒260 千葉市中央区長洲1-9-22 森林会館

TEL 043(225)3181 FAX 043(225)3255

編集／凸版印刷株 TEL 043(245)7071

この広報誌は、再生紙を使用しています。